

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

経乳頭的胆嚢ステントの中長期成績

2. 研究の対象患者

当院に入院した急性胆嚢炎患者で、ERCPにて経乳頭的胆嚢ステント留置術を試みて、ビルロート I 法以外の胃切除術、胆管手術の既往のある方

3. 研究の対象期間

2007年1月1日～2017年12月31日

4. 研究の概要

急性胆嚢炎に対しては速やかな胆摘術が推奨されているが、全身状態不良にて手術が不適切な患者に対しては経皮経肝的胆嚢ドレナージ術が施行される。結石陥頓が解除された場合には瘻孔形成を確認後にドレナージチューブを抜去することができるが、胆嚢管が閉塞したままの場合には胆嚢炎再発を予防するために永久留置が必要となり、生活の制限が問題になる。これを解決するために、経乳頭的胆嚢ドレナージ・ステント留置術が開発されたが、その中長期的成績についての報告は少ない。そこで、本研究では、主要評価項目を胆嚢炎非再発期間に設定し、当院にて経乳頭的胆嚢ステント留置術を受けた急性胆嚢炎患者の術後経過及び診療録をもとに後向きに解析し、経乳頭的胆嚢ステント長期留置の有効性・安全性を検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年1月17日～2018年9月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景：患者識別コード、生年月日、年齢、性別、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、胆嚢ステント留置日

血液学的検査：RBC、Hb、WBC、New(%)、Lym(%)

血液生化学的検査：BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca

胆嚢炎再発日

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：消化器内科 志村 謙次
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)